

知的財産戦略専門調査会の設置等について

平成 14 年 1 月 30 日
総合科学技術会議

1. 総合科学技術会議令第 2 条第 1 項に基づき、総合科学技術会議に知的財産戦略専門調査会を設置する。

知的財産戦略専門調査会は、我が国全体として、研究開発投資の拡充に対応した成果の創出と確保を図り、国際競争力の強化に結びつけるため、知的財産の保護と活用に関する総合的な戦略について調査・検討を行う。

2. 総合科学技術会議令第 1 条第 1 項に基づき、総合科学技術会議に、知的財産に関して調査・検討を行う専門委員を置くことにつき内閣総理大臣に意見具申する。

知的財産に関する検討課題について

我が国全体として、研究開発投資の拡充に対応した成果の創出と確保を図り、国際競争力の強化に結びつけていくため、知的財産の保護と活用に関する総合的な戦略を策定。

このため、科学技術の観点から、以下のような課題について調査・検討。

【検討課題（例）】

1. 国の研究開発投資に対応した知的財産の創出と確保

- (1) 我が国の知的財産の確保を目指した研究開発の在り方
(パイドール条項など研究開発制度上の知的財産の取扱い等)
- (2) 知的財産を重視した大学等の研究開発システム改革
(知的財産の機関帰属、適正な管理、権利化の促進等)

2. 先端技術分野における知的財産の保護と活用

- (1) 先端技術に関する知的財産の戦略的な保護
(国際比較も踏まえた特に保護すべき分野・領域の明確化等)
- (2) ライフサイエンス・IT等分野別の課題への対応
(ライフサイエンス: 遺伝子、タンパク質や新たな医療技術・医薬品の特許等、
IT: ITを活用した新技術の保護、ネットワーク上の知的財産の保護と流通等)

3. 知的財産の創出・確保・活用のための基盤整備

- (1) 知的財産保護の拡充・強化
(職務発明制度の在り方、営業秘密の保護強化等)
- (2) 知的財産に関わる人材養成
(専門人材の育成、知的財産教育の充実等)
- (3) 知的財産に関する国際戦略
(制度の国際的調和、海外での権利取得促進等)

知的財産戦略専門調査会名簿

会長	井村 裕夫	総合科学技術会議議員
	桑原 洋	同
	吉川 弘之	同
	吉野 浩行	同

(専門委員)

相澤 英孝	早稲田大学教授
秋草 直之	富士通株式会社代表取締役社長
荒井 寿光	日本貿易保険理事長
新井 賢一	東京大学医科学研究所所長
浮川 和宣	株式会社ジャストシステム代表取締役社長
江頭 邦雄	味の素株式会社取締役社長
江崎 正啓	トヨタ自動車株式会社知的財産部長
齊藤 博	専修大学教授
竹田 稔	弁護士
田中 信義	キヤノン株式会社常務取締役
中島 淳	弁理士
野間口 有	三菱電機株式会社専務取締役
廣瀬 全孝	産業技術総合研究所次世代半導体研究センター長
藤野 政彦	武田薬品工業株式会社取締役会長
松重 和美	京都大学教授
山本 貴史	株式会社先端科学技術イノベーションセンター 代表取締役社長

知的財産戦略専門調査会の今後の検討の進め方（案）

【第1回】 3月14日（木）10～12時

検討事項：検討の進め方、関係省から取組状況説明、自由討議

- ①検討の進め方
- ②関係省（経済産業省、文部科学省）における取組状況
- ③自由討議

【第2回】 4月5日（金）10～12時

検討事項：国の研究開発投資と知的財産

研究機関、独立行政法人等（候補：JST、産総研、東大 or 東工大）
ヒアリング

【第3回】 4月22日（月）13～15時

検討事項：先端技術分野における知的財産保護

専門委員プレゼンテーション（有識者ヒアリング）

【第4回】 5月10日（金）14～16時

検討事項：知的財産の基盤整備、中間まとめ骨子案の審議

- ① 専門委員プレゼンテーション（有識者ヒアリング）
- ② 中間まとめ骨子案の審議

【第5回】 5月28日（火）15～17時

検討事項：中間まとめ案の審議

【第6回】 6月

中間まとめ案 審議・決定

⇒ 総合科学技術会議、知的財産戦略会議に中間まとめ案を報告